

令和7年度4月期
京都大学大学院地球環境学舎
修士課程学生募集要項
(夏期選抜)

大学院地球環境学舎 理念と入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

学舎全体に関わる事項

地球環境の保全や持続的発展のためには、広域にわたって整合性のある複合施策の発案・実施ができる実務者が必須であり、同時に、それを支援し、かつ、あらたな生活文化をも創出するような統合的学術研究分野の構築とその人材が緊急に求められている。大学院地球環境学舎では、地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的問題を解決しうる高度な実務者や、地球環境問題の複雑性と広がりをもつ従来の基礎科学の上に立って展望し、学問としての先見性、深さと広がりをもった新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な研究者の養成を目指している。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視している。

本大学院では、高い倫理性と豊かな人間性を持った以下のような人材を広く求めている。

- ・ 地球環境問題に強い関心を持ち、その調査・分析、解決のための施策立案・技術開発に積極的に関わる意欲を持つ人
- ・ 環境マネジメントに対する強い意欲を持ち、将来、地球レベルあるいは地域レベルの環境問題に対するマネジメント活動を志す人

入学後は、講義、セミナー、研修、研究、等を通して、上述の高度な実務者や研究者となる人材育成を行う。

地球環境学専攻に関わる事項

地球環境学専攻には、博士課程の後期3年の課程(博士後期課程)が設置されている。地球環境問題の複雑性と広がりをもつ従来の基礎科学の上に立って展望し、学問としての先見性、深さと広がりをもった新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な研究者の養成を目指すとともに、そのような学問的素養を備えた実務者の養成も目指している。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視している。

本専攻では、環境マネジメント専攻修士課程修了者はもとより、既存学問体系の中から、それまでの専攻分野の基礎原理・内容を確実に習得している、地球環境問題に強い関心を持つ既存研究科博士前期(修士)課程修了者、ならびに、実践と経験を重視するという趣旨から、高度な地球環境学研究に取り組んでいる社会人や留学生を積極的に受け入れる。

環境マネジメント専攻に関わる事項

環境マネジメント専攻には、博士課程の前期2年の課程(修士課程)と、博士課程の後期3年の課程(博士後期課程)が設置されている。

本専攻では、地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的問題を解決しうる高度な実務者の養成を目指すとともに、そのような実務感覚を備えた研究者の養成も目指している。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視している。

本専攻では、地球環境に関する諸問題についての基礎学力や国際的対応の基礎となる語学(コミュニケーション)能力をもつと同時に、環境マネジメントに対する資質と強い意欲を持った人を求めている。また、実務者養成という趣旨から、すでに環境マネジメント活動に取り組んでいる社会人、留学生および実務経験者を積極的に受け入れる。

入学受入れの基本方針

修士課程では、外国語の評価と、地球環境学・専門分野・研究計画書等に基づく口頭試験とを組み合わせた多様な入学試験を実施する。

博士後期課程では、外国語の評価と、研究計画書等に基づく口頭試験とを組み合わせた多様な入学試験を実施する。

本大学院の修士課程は、大学院設置基準第4条第4項にいう博士課程の前期2年の課程である。

I. 募集人員

環境マネジメント専攻 44名（令和6年10月入学者数を含む）

- ◎ 社会人特別選抜は、若干名募集（上記募集人員に含まれる）。
- ◎ 上記募集人員には、原則奨学金を獲得している優秀な外国人留学生（注1）を対象とした国際環境マネジメントプログラム（IEMP）特別選抜（注2）等の募集人員が含まれる。

注1：外国人留学生とは原則日本国籍を有しない者のことである。

注2：詳細は、当該特別選抜の募集要項（英語）を参照すること。

II. 出願資格と出願資格の審査

i 出願資格

次のいずれかに該当する者、あるいは令和7年3月末までに該当する見込みの者。

- (1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

注：外国において、学校教育における15年の課程を卒業又は卒業見込みであって、出願資格(6)に該当しない場合は、出願資格(9)により出願すること。

ii 出願資格の審査

出願資格(9)又は(10)により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査を行うので、次の期間内にインターネット出願にて申請すること。

インターネット出願：https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/general_summer2024master_eligibility

申請期間：令和6年5月31日（金）～6月7日（金）15時

- (1) 出願資格審査必要書類

出願前に下記の書類全て、データ（指定等ない限りPDF）で用意しておくこと。

① 写真	上半身脱帽正面向きで、出願前 6 か月以内に単身で撮影したもの（縦横比 6:5、データ形式：JPEG）
② 成績証明書	最終出身学校が発行したもの。証明書は、日本語又は英語で記載されたものに限る。
③ 教育課程が分かるもの	最終出身学校（出願資格 (9) で申請する場合は在籍する学部・学科等）の教育課程（卒業要件、開講科目の内容等）が分かるもの

※大学卒業と同等以上の能力を示す業績、資格、社会における活動実績等を証明する書類などがあれば、提出することができる。

(2) 審査方法及び日程

- 1) 出願資格の審査申請をした者に、書類審査を行う。
- 2) 出願資格審査の結果発表は、令和 6 年 6 月 20 日（木）10 時にインターネット出願サイトの「合格発表」ページにて行う。

※出願資格 (9) により受験し合格した者（外国において、学校教育における 15 年の課程を卒業又は卒業見込みの者は除く）は、入学手続き時に提出する成績証明書により調査した結果、期待された成果が得られていないと判断した場合は、合格を取り消すことがある。また、令和 7 年 3 月末日までに退学証明書を提出すること（従って、現在在学中の大学より学士の学位を取得することはできない）。

iii 社会人特別選抜について

前記 II-i の出願資格を満たし、出願時において、官公庁、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者を対象に特別選抜を行う。

III. 出願手続

出願者は、出願書類を完備して、次の期間内にインターネット出願にて申請すること。

願書受理期間：令和 6 年 7 月 9 日(火)～7 月 16 日(火)15 時
 インターネット出願：https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/general_summer2024master

[出願書類]

出願前に下記の書類全て、データ（指定等ない限り PDF）で用意しておくこと。

① 写真	上半身脱帽正面向きで、出願前 6 か月以内に単身で撮影したもの（縦横比 6:5、データ形式：JPEG）。 ※試験時の本人確認のほか、入学後の学生証にも利用する
② 成績証明書	出身大学が発行したもの。証明書は日本語又は英語で記載されたものに限る。
③ 卒業（見込）証明書	※原本は、合格後の入学手続き時に提出すること。
④ 入学検定料収納証明書	入学検定料：30,000 円 振込期間：令和 6 年 7 月 5 日（金）～7 月 16 日（火） 京都大学 EX 決済 (https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/ges/) により入学検定料を納入し、収入証明書をダウンロードすること。 ※氏名は願書どおり入力すること。 ※支払方法は、次のいずれかから選択可。 入学検定料の他に支払い手数料（650 円）が必要。 ・コンビニエンスストア ・クレジットカード ・金融機関 ATM ・ネットバンキング ※国費留学生として入学した場合は、入学検定料を返還する。 【学舎学生（内定者含む）の JICA 長期研修員は不要】

⑤ 志望理由書	所定の様式を用いて PC で作成すること。 ※所定様式は、本大学院の WEB サイト (https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/admissions/schedule-and-guide/) から取得すること。
⑥ TOEFL 等の英語スコア	後記 IV-i に記載する TOEFL 等の英語スコア ※原本は、合格後の入学手続き時に提出すること。
⑦ 地球環境に関する課題論文	別紙「地球環境に関する課題論文 分野別テーマ」に記載する志望分野が設定したテーマについて、PC を使用し、本文 A4 用紙 4 枚以内（日本語の場合 5,000 字程度、英語の場合 2,000 words 程度）で記述したもの（様式随意。なお、冒頭に志望分野、氏名を記載すること。また、参考文献リストは本文字数、ページ数に含まない）。

前記 II-i 出願資格 (2) に該当する見込みの者は、上記③「卒業（見込）証明書」について、「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」（様式随意：学位が得られないこととなった場合は、そのことを速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出すること。

◎社会人特別選抜に出願する者は、上記の書類のほかに下記の書類を提出すること。

⑧ 在職確認書類	在職していることを確認できる文書。たとえば、出願者の氏名と所属機関が記載された在職証明書、職員証（この場合データ形式は JPEG 等でも可）、もしくは所属の長又は指導的立場にある者が作成した推薦書（様式随意）。
⑨ 実務実績調書	在職中に行った実務実績について、PC を使用し、1,000 字以内（英語で作成する場合は 500 words 以内）（A4 用紙）で作成すること（様式随意）。

[検定料に関する注意事項]

- ・ 一旦納入された入学検定料は、理由の如何に関わらず返還しない。
- ・ 京都大学総長が指定する災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災し罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがある（参照：京都大学ホームページ「入学検定料の免除について」<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees-exemption>）。該当者は、令和 6 年 6 月 11 日（火）17 時までに、地球環境学堂教務掛（7 頁）へ問い合わせること。

IV. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の内容、英語能力（「TOEFL 等の英語スコア」で採点）、学力検査（口頭試問）の成績を総合して行う。

i TOEFL 等の英語スコア

全ての受験者は、「TOEFL 等の英語スコア」を提出すること。提出しない場合、英語能力の点数は 0 点とする。

TOEFL-iBT (TOEFL iBT Home Edition を含む) の受験者成績表 (Test Taker Score Report) (注 1) の提出を原則とするが、以下のいずれかを提出してもよい。

- ・ TOEIC Listening & Reading (Secure/Public testing program) の公開テストスコアの公式認定証 (Official Score Certificate) (注 2)
- ・ IELTS スコア公式成績証明書 (Test Report Form) (注 3)

ただし、いずれであっても令和 3 年 4 月 1 日以降に受験した試験のスコアとする。また、2 種類以上のスコアを提出することはできない。

なお、各英語スコアの TOEFL-iBT スコアへの換算は以下の通りとする。

- ・ TOEIC スコア：8 頁の「換算表」に基づく。

・ IELTS スコア : ETS による換算表「TOEFL iBT® and IELTS® Academic Module Scores Comparison Tables」に基づく。

注 1 : TOEFL-CBT、TOEFL-ITP スコア及び TOEIC 団体特別受験制度による IP スコアは認めない。TOEFL-iBT の受験者成績表 (Examinee Score Record) は、ETS から大学に直送される公式成績報告書 (Official Score Report) では代替できない。

注 2 : TOEIC 公開テストスコアには、TOEIC Bridge を含まない。また、必ず公式認定証 (Official Score Certificate) を取得し提出すること。

注 3 : IELTS はアカデミック・モジュールに限る。

ii 学力検査

日 時	科 目	試 験 場
令和 6 年 8 月 27 日 (火) ~ 8 月 29 日 (木) 各日 9 時 ~ 18 時 (上記から日時を指定する。 1 人あたり 35 分の予定)	口頭試問 (地球環境に関する知識*、志望分野に関する知識*、入学後の研究計画及び学習計画、アドミッション・ポリシーで求める資質・能力に関する試問) *社会人特別選抜出願者については、実務実績に基づく内容	京都大学吉田 キャンパス 総合研究 5 号館 ※ただし、海外から受験する者については、オンラインで実施する。

- (1) 入学者選抜は分野ごとに行うので、志望分野及び受入志望教員を出願時に選択すること。
 なお、出願に先立ち受入志望教員と事前にコンタクトをとること (外国の大学を卒業 (見込) の者は、受入志望教員とコンタクトをとる前に必ずアドミッション支援オフィス (Admissions Assistance Office/AAO) で手続きを行うこと)。AAO: <https://u.kyoto-u.jp/fg3ll>

募集を行う分野名・教員名一覧

地球益学廊			
地球環境政策論分野	教授	宇佐美 誠	
環境経済論分野	教授	竹内憲司	
地球益経済論分野			准教授 森 晶寿
持続的農村開発論分野	教授	武山絵美	准教授 鬼塚健一郎
水環境保全論分野	教授	藤原 拓	准教授 日高 平
環境マーケティング論分野			准教授 吉野 章
美術史・文化論分野	教授	高階絵里加	
環境教育論分野			准教授 Trencher, Gregory 講師 Baars, Roger Cloud
地球親和技術学廊			
環境調和型産業論分野	教授	越後信哉	准教授 田中周平
社会基盤親和技術論分野	教授	勝見 武	准教授 高井敦史
人間環境設計論分野	教授	小林広英	准教授 落合知帆
生物多様性保全論分野	教授	市岡孝朗	
	教授	西川完途	
景観生態保全論分野	教授	今西純一	准教授 深町加津枝
元素材料化学論分野	教授	田中一生	
資源循環学廊			
地域資源計画論分野	教授	西前 出	准教授 浅野悟史
都市基盤デザイン論分野	教授	川崎雅史	准教授 山口敬太
親環境フォトセラミック材料化学論分野	教授	田部勢津久	
生産環境微生物学論分野	教授	田中千尋	准教授 吉見 啓
陸域生態系管理論分野	教授	舟川晋也	准教授 真常仁志
生態系連環論分野	教授	徳地直子	
	教授	舘野隆之輔	

(2) 「志望分野に関する知識」における分野ごとの出題内容は以下のとおり。

	分野	「志望分野に関する知識」における出題内容
地球益学 学廊	地球環境政策論分野	環境政策に関する知識を問う。
	環境経済論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	地球益経済論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	持続的農村開発論 分野	農村計画学及び農村開発論に関する知識を問う。
	水環境保全論分野	水環境保全（水質学、水と衛生、廃水処理、流域水環境管理など）に関する知識を問う。
	環境マーケティング 論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	美術史・文化論分野	美術史と文化に関する知識を問う。
	環境教育論分野	持続可能な開発のための教育、コミュニティ・レジリエンス、参加型の開発、人の移動、循環型・低炭素社会システム及び持続可能性に資するライフスタイルについての知識を問う。
地球親和 技術学 学廊	環境調和型産業論 分野	環境工学（環境汚染、上下水道・廃水処理、廃棄物処理・処分・管理など）に関する知識を問う。
	社会基盤親和技術論 分野	地盤環境工学を中心として、社会基盤工学（土木工学、建設工学、建設環境工学）に関する知識を問う。
	人間環境設計論分野	生活、住居、建築、コミュニティ、都市という人間環境に関わる知識を問う。
	生物多様性保全論 分野	動植物の分類学、系統学、形態学、遺伝学、生物多様性や保全生物学に関する幅広い見識を問う。
	景観生態保全論分野	景観生態学、自然環境保全、ランドスケープ計画に関する幅広い見識を問う。
	元素材料化学論分野	環境計測・機能材料に関する知識を問う。
資源循環 学廊	地域資源計画論分野	土地利用・管理を中心とする地域資源計画及び農村・地域開発に関する幅広い見識を問う。
	都市基盤デザイン論 分野	景観工学の基礎（景観の概念、分析、予測、評価、公共空間の各論など）や都市計画に関する知識を問う。
	親環境フォトセラミ ック材料化学論分野	光機能性材料科学の研究遂行に必要な基礎数学、学部レベルの物理化学、無機化学に関する知識を問う。
	生産環境微生物学論 分野	農林生産環境と関連づいた微生物の分類学、系統学、生物間相互作用に関する幅広い見識を問う。
	陸域生態系管理論 分野	陸域生態系とその管理法、地域開発支援に関する知識を問う。
	生態系連環論分野	森林域、里域、沿岸・河口域の生態系の構造や機能および生態系間の連環に関する幅広い見識を問う。

(3) 口頭試問での採点・評価項目は以下のとおり。

基礎学力、知識力、理解力、問題把握能力、考察力、問題設定能力、研究能力、設問理解度、応答能力、出願書類の内容

(4) 合否判定基準は、以下のとおり。

英語能力（満点 100 点）、口頭試問（地球環境に関する知識、志望分野に関する知識、入学後の研究計画及び学習計画・アドミッション・ポリシーで求める資質・能力、出願書類の内容を含む満点 400）の総得点（満点 500 点）により分野ごとに合否判定を行う。なお、総得点

250点未満の者又は口頭試問200点未満の者は合格対象としない。

- (5) 口頭試問における使用言語を「日本語」若しくは「英語」から選択すること。出願後の変更は認めない。
- (6) 海外から受験する者については、オンラインで口頭試問を行う。事前に受験に適切な環境（静寂な個室）の確保や試問に使用する機器類（カメラ、スピーカー、マイク含む）や通信環境で、安定的に面接を実施できるか確認しておくこと。詳しくは、別紙「オンライン口頭試問を受験する際の留意事項」を参照すること。
- (7) 口頭試問の日時、受験案内等は令和6年8月6日にメールにて通知する。なお、受験票は8月6日以降にインターネット出願システムからダウンロードし、印刷しておくこと。
- (8) 障がい等があつて受験上の配慮を必要とする者は、なるべく早く申し出ること。

V. 合格者発表

令和6年9月2日（月）10時にインターネット出願システムの「合格発表」で通知する（電話等による問い合わせには応じない）。

VI. 入学料及び授業料と入学手続

i 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [※入学時に改定されることがある。]

【国費留学生または本学と一括契約している JICA 長期研修員プログラム生は不要】

授業料 年額 535,800円 [※入学時、在学時に改定されることがある。]

【国費留学生または本学と一括契約している JICA 長期研修員プログラム生として在学中は不要】

ii 入学手続

詳細については、令和7年2月下旬に合格者あてに通知する。

VII. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱う。
- (2) 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所その他の個人情報については、① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）関係、② 合格発表関係、③ 入学手続関係についての業務を行うために利用する。
- (3) 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ ① 教務関係（学籍、就学指導等）、② 学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③ 授業料徴収関係についての業務を行うために利用する。

【問合せ先】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院地球環境学堂教務掛（TEL 075-753-9167）

※問合せ時間：平日の9時～12時、13時～17時

E-mail: 160tikyukankyoumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

【京都大学大学院地球環境学舎ホームページ】

<https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/>

TOEFL-iBT・TOEIC スコア換算表

TOEIC Score	TOEFL iBT Score
65 - 83	14
84 - 100	15
101 - 119	17
120 - 138	18
139 - 153	19
154 - 163	20
164 - 183	21
184 - 205	23
206 - 226	24
227 - 239	25
240 - 250	26
251 - 264	27
265 - 278	29
279 - 291	30
292 - 301	31
302 - 318	32
319 - 335	33
336 - 349	35
350 - 357	36
358 - 368	37
369 - 385	38
386 - 395	39
396 - 408	41
409 - 418	42
419 - 431	43
432 - 442	44
443 - 454	45
455 - 466	47
467 - 474	48
475 - 482	49
483 - 491	50
492 - 507	51
508 - 522	53
523 - 529	54
530 - 536	55
537 - 553	56

TOEIC Score	TOEFL iBT Score
554 - 567	57
568 - 576	59
577 - 583	60
584 - 590	61
591 - 600	62
601 - 613	63
614 - 626	65
627 - 635	66
636 - 642	67
643 - 649	68
650 - 659	69
660 - 671	71
672 - 681	72
682 - 688	73
689 - 696	74
697 - 707	75
708 - 720	77
721 - 726	78
727 - 731	79
732 - 736	80
737 - 745	81
746 - 757	83
758 - 767	84
768 - 774	85
775 - 781	86
782 - 789	87
790 - 798	89
799 - 808	90
809 - 815	91
816 - 824	92
825 - 833	93
834 - 842	95
843 - 849	96
850 - 859	97
860 - 869	98
870 - 880	99

TOEIC Score	TOEFL iBT Score
881 - 896	101
897 - 905	102
906 - 914	103
915 - 926	104
927 - 937	105
938 - 949	107
950 - 960	108
961 - 976	109
977 - 988	110
989 -	111

【修士課程】地球環境に関する課題論文 分野別テーマ

分野	課題テーマ
地球益学廊	地球環境政策論 修士論文研究の研究計画書を作成しなさい。研究計画書は、当該主題または関連主題に関する先行研究の概観、研究目的または中心的な問い、研究方法の説明を含むこと。文献引用時には、本文中の（ ）内に著者・出版年の順に示し、本文中に挙げた文献のみを末尾の文献リストに挙げなさい。
	環境経済論 環境経済学における因果推論の適用について論じなさい。
	地球益経済論 修士論文研究のステップとして、現在の経済・社会・技術システムを持続可能なものへと移行させる戦略と具体的な変化（制度・政策・技術・組織・ビジネスモデルの革新等）を、環境経済・政策・経営や持続可能性移行（sustainability transition）に関する先行研究、及び国内外の先行事例を参照しつつ、説明しなさい。図表の活用を推奨する。
	持続的農村開発論 これからの農村計画学に求められる方向性について、あなたの国におけるこれまでの農村計画学の展開を踏まえながら説明しなさい。なお、説明には図表を用いてもよい。
	水環境保全論 世界または地域の水衛生問題を概観した上で、あなたが今後取り組む予定の研究について、具体的な計画を示しつつ、その研究が世界または地域の水衛生問題の解決にどのように貢献するのか説明しなさい。
	環境マーケティング論 以下の1)～3)のいずれかのテーマについて、あなたが大学院で取り組みたい事例を1つあげて、その解決方法とともに、そこであなた自身の研究がどのような形で貢献できるかを示しなさい。 1) 企業の経済活動と環境・社会との調和 2) 食または環境に関するリスクコミュニケーション 3) 環境・社会と調和した地域農業振興
	美術史・文化論 日本の芸術と自然環境の歴史的関係について、先行研究を引用し具体例を挙げて論述しなさい。
	環境教育論 持続可能性または環境に関する現在の問題を1つ取り上げ、社会的変革を目指した多様な取組により解決する方法を論じなさい。提案する取組の種類（政策、教育、能力の習得・構築、ビジネスモデルの革新、技術開発等）を明確にし、これらが、あなたが論じる問題をどのように解決しうるか述べなさい。日本又は諸外国の例及び学術理論や先行研究の中で議論されている内容を含むこと。

	分野	課題テーマ
地球 親 和 技 術 学 廊	環境調和型産業論	世界または地域の水衛生問題を概観した上で、あなたが今後取り組む予定の研究について、具体的な計画を示しつつ、その研究が世界または地域の水衛生問題の解決にどのように貢献するのか説明しなさい。
	社会基盤親和技術論	あなたが卒業論文で取り扱う（あるいは取り扱った）テーマで、地盤環境工学に関連する事項を取り上げ、説明しなさい。
	人間環境設計論	当分野では、「ひと・くらし・すまい・ちいき」という人間環境のあらゆるスケールに存する社会的課題を研究対象としている。これらの中から今日的な課題を取り上げ、地球環境問題との関連性の観点から述べなさい。
	生物多様性保全論	生物の多様性に関する条約の遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分（ABS）に関する名古屋議定書について説明し、現状の問題点を整理しなさい。なお、説明には図表を用いてもよい。
	景観生態保全論	私たちは自然から様々な恵みを受けているが、近年は社会や環境の変化にともなって様々な問題が生じている。これらの問題と、その背景、要因について景観生態学の見地から論じなさい。その上で、あなたが今後取り組みたい研究について、具体的な計画を示しつつ、その研究が問題解決にどのように貢献するのか説明しなさい。
	元素材料化学論	水・土壌・大気それぞれにおける環境汚染物質を挙げ、排出経路並びに生物や環境への影響を説明しなさい。また、それぞれの汚染物質の計測方法と測定技術の原理に関して概説しなさい。
資 源 循 環 学 廊	地域資源計画論	開発途上国あるいは日本国内の都市近郊における開発と環境の調和について、具体例を挙げて地域計画論的視点から述べなさい。
	都市基盤デザイン論	都市・地域の良好な環境や景観をどのような視点や方法で評価することがそれらの保全・形成に有効であるか、具体例を挙げながら述べなさい。また、関心のある研究テーマに関して、いくつかの学術研究論文をレビューし、なぜそのテーマに関心があるかについての理由と課題について述べなさい。
	親環境フォトセラミックス材料化学論	当分野の2014年以降の国際論文誌出版論文 (http://www.talab.h.kyoto-u.ac.jp/paper.html よりDL可能)から3報選び、各々の研究背景、成果、意義を説明しなさい。

分野	課題テーマ
生産環境微生物学論	あなたが注目する菌類あるいは植物やその産物に関する微生物の科学またはその応用に関する議題を1つ挙げ、その関係研究数本を概観し、あなた自身が何をどのように明らかにしたいのかを述べなさい。必要に応じて、図表を用いてもよい。
陸域生態系管理論	陸域生態系における環境問題を1つ挙げ、その解決に資する研究計画を提案しなさい。作成にあたっては、研究の背景、目的、方法、期待される成果について具体的に述べること。なお、図表を用いてもよい。
生態系連環論	生態系サービスの時空間的なトレードオフや受益者間のトレードオフの観点から「森里海連環」を考える上でどのような研究を進める必要があるか具体例を挙げて説明しなさい。なお、説明には図表を用いてもよい。

オンライン口頭試問を受験する際の留意事項

オンライン口頭試問の受験に際し、以下の事項をよく読んで確認すること。

入試当日までに行うこと：

1. オンライン口頭試問の受験に適切な環境（静寂な個室）の確保。
2. 試問に使用する機器類（カメラ、スピーカーマイク、ヘッドセット含む）や通信環境で、安定的に面接を実施できるか事前に確認しておくこと（OS や Zoom アプリの更新、接続状況、音声のやり取り、ビデオ映り等）。
3. 海外からの受験する場合で、上記 1. または 2. の確保が困難な場合は、インターネット出願でその旨申し出ること。

入試当日に行うこと：

1. 受験票を手元に用意しておくこと。
2. 試問実施時間前に、受験案内で指定する Zoom リンク先にアクセスすること。
3. Zoom 上の表示名を受験番号と氏名に設定すること。
4. 係員の指示に従い、本人確認ができるよう上半身脱帽正面向きにビデオを映すこと（マスクは着用しないこと）。試問中はカメラから 1 m 程離れ、上半身がビデオに映るようにすること。なお、バーチャル背景は使用しないこと。
5. 係員の指示に従い、試問に使用する Web カメラにて部屋内の周囲を映すこと。
6. 係員の指示に従い、Zoom の画面共有機能を使用し、使用している端末に Zoom 以外のアプリやタブが立ち上がっていないこと。
Zoom 画面共有の使用方法は次を参照のこと。
Zoom ヘルプセンター <https://support.zoom.us/hc/ja> > オーディオとビデオ > 画面共有
7. 係員の指示に従い、試問中は一定の状態で常にカメラに映っていること。
8. 受験票、試問に使用する機器類以外は手元に置かないこと。

不正行為等について：

次の行為が確認された際は不正行為とみなすことがある。

- ・ 電話など雑音が入るような環境
- ・ 試問中の第三者の存在
- ・ 試問に関する第三者からの発言や第三者とのやり取り
- ・ 試問の録音・録画
- ・ 試問中の入退室
- ・ 受験票、使用機器類以外が手元に置かれていると推測される行為
- ・ 諮問に使用する機器類を試問通信以外で使用する行為（インターネットでの情報検索等）
- ・ 試問に係る内容の外部漏洩
- ・ その他試験の公正を害する行為（参考資料を読む、故意に通信を中断する等）

当日のトラブル対応について：

- ・ 接続障害の発生等により試問当日の実施が困難な場合は、試験期間中の別日・時間に試問を実施する場合がある。詳細は追って通知する。
- ・ 当日障害等が発生したときは、電話又はメールにて連絡を行う。なお、受験者側で当日障害等が発生したときは、直ちに地球環境学堂教務掛に電話又はメールにて連絡すること。

電話番号： +(81)-75-753-9167)

e-mail： 160tikyukankyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

告知事項：

- ・ 公正で安定的な入試実施及び接続障害発生への備えとして、試験の様子を記録（録画等）する。記録は入試業務のみにおいて使用し、選抜終了後適切に廃棄する。
- ・ 受験者本人の事由による接続エラー、トラブル等が発生し地球環境学堂教務掛に連絡がなかった場合は不受験とすることがある。

その他、必要な事項は、出願後の受験案内にて行う。

以上